

家庭学習の手引き（5・6年生）

家庭学習の手順とポイント

1. テレビを消します。（おやつも終わるまでがまんします）
2. 机の上と周囲をきれいにし、必要なものをそろえましょう。
3. 毎日、時刻を決めましょう。（〇時△分から□分間）
4. 正しい姿勢でしましょう。（鉛筆の持ち方に注意します）
5. 音読は、毎日しましょう。
6. 宿題が終わったら、自学にも取り組みましょう。
7. 高学年の勉強時間は、60分～70分がめやすです。
8. 線を引くときは、ものさしを使いましょう。

やる気スイッチ
ON!



勉強のしかた

教科	学習内容 例
共通	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書を音読する。（全教科）音読後、家の人にサインをもらう。 2. 教科書をていねいに視写する。（大事な部分にアンダーラインを引く） 3. テストやプリントなどの間違えた問題を復習する。（できた問題は〇、まちがった問題には×をつけ、2回目は×のものをやる。） 4. 教科書の内容でもっとくわしく調べたいことについて、読み物資料やインターネットなどで調べ、自分なりにまとめる。
国語	<ol style="list-style-type: none"> 1. 漢字の学習は、漢字辞典や漢字ドリルで筆順・読み・画数・熟語を調べて書く。 2. 「言葉の学習」で習った熟語や言い回しなどを使って短文を作る。（主語、述語、句読点を入れる） 3. 教科書に出てきた言葉、ことわざや四字熟語の意味を調べて書く。 4. テーマ作文を書く。（事実や意見・感想を区別して書く。） 5. 新聞記事をスクラップし、自分の感想や意見を書く。
社会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書に書かれている内容を、問いと答えにする。 2. 都道府県や市町村の名前を覚える。また、その地域の特ちょうを調べる。
算数	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書やドリルの問題をくり返し解く。 2. 作図の仕方を確認し、いろいろな形をていねいに作図する。（長さや角度も書き込む） ※〇つけは自分でやる。
理科	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実験器具の名称や使い方を書く。 2. 問題を作り、それに対する答え（図や表による書き方もOK）を書く。
他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 音楽（記号や作曲家など） 2. ローマ字 3. 体育（運動の技やコツ） 4. 保健 5. 家庭 6. 図工 7. 外国語 8. 道徳 の中から、学習したことをまとめる。

予習・復習をしましょう。

1. 次の日に習うところをできるだけ声に出して読みましょう。読むことで、何を勉強するか知ることができ、分からないところは、授業で分かっていきます。
2. 授業で学習したこと（ノート）を読み返しましょう。読み返して、分かったらOKの印をつけ、分からなかったら調べたり聞いたりしましょう。